

## 新たなるスタート

### 新年度の始まり

関東では桜ももう終わり、新緑の眩しい季節となりました。新人の皆様はもうだいぶ現場になれてきた頃でしょうか? 今年は桜の開花が早いと言う予想でしたが、気温の変化が激しく、結局例年とあまり変わらない開花でしたね。寒くなったり暑くなったりで身体を壊してしまった方も多いのではないのでしょうか? 花粉に引き続きさらに最近では黄砂の影響で呼吸器系にも注意が必要だとか...。これは正に温暖化による異常気象の影響なのでしょう? そして今年の夏は猛暑が予想されています。

### 新人研修

今年度も様々な施設・病院様の新人研修にお邪魔させていただきました。初々しさと凛々しさを兼ねそろえ、新調したばかりのユニフォームを着た皆様の前に今年も張り切って立たせて頂いたのですが、やる気に満ち溢れた耀かしいまなざしを前に、こちらまで背筋がピンとなってしまう研修ばかりでした。一生懸命学ぼうとする意欲が伝わってきて、思わず言葉にも力が入ってしまいます。



訪問看護師さんの研修会、おむつのあて方を実践中です

### この仕事を通して...

介護に携わる者の一人として思うことは、この仕事が けに素晴らしいものであるかと言うことです。これから先、数え切れないほど多くの人生の大先輩方と出会い、数え切れないほど多くの事を学び、教わる事が出来るはず。そしてその経験は皆さんをどんどん成長させて行くことになるはず。家族の絆・出会いと別れ・喜びと悲しみ、様々な場面に直面し、憤りを感じることもあることと想います。でも、きっといつか、この仕事を選んで本当に良かったと思うことでしょう。

私たちも心から応援します。

新人の皆さん、頑張ってください!!!

去年訪れた施設で実習中だった学生さんも4月からは新人介護士さんとして働いているのでしょね頑張ってくださいね!!



## 今月の人



本社 商品部: 渡辺えりか さん

### 自己PR:

髪の毛の量が多くて眼鏡人生の長い身長 163 cm、以前は体重 63 kg の樹齢 35 の者です。

### 渡辺さんのお仕事:

病院売店で購入可能な衛生材料や医療材料を注文し、揃えています。又、まだ少ない場所ですが、お菓子の出張販売も行なっております。特に老人ホームです。月に1・2回なので名前と顔が一致しないでコミュニケーションがなかなか取れませんがお菓子の話を通してお客様の笑顔に会うのが楽しみであります。

### 趣味は何ですか?:

明るいときには良く笑うことです。

趣味は笑うことです。大声で。

時に人を気にしないで笑うので怒られることもあります...

おかげでしわが増えました。

光洋製品を使っている看護師・介護士の皆様一言:

不便なことがあればどんどんいってほしいと想います。こんなものがあればと言うのはきっとあると考えています。忙しい毎日なので少しでも便利で良いものを提供していきたいと努めています。本物のショップさながらディスプレイです



## 失禁のスキンケアについて

### スキントラブル

日に日に暑さの増していくこれからの時期、介護現場さんではおむつによるスキントラブルの問題が発生しやすい時期になります。お茶を使った陰部洗浄や、オイルを使った予防法など、皆さん様々な工夫をしてスキンケアを行なっていると思います。そこで今回は、最近施設・病院などで使用されているスキンケア用品をご紹介します。

### セキュラPO

保護クリーム・皮膚の上に撥水性の皮膜を形成して汚れから皮膚を保護します。皮膚の水分の蒸発を防いで皮膚を保湿します。ワセリン含有成分が皮膚の上に撥水性の皮膜を形成し、便などの刺激性の強い汚れから皮膚を保護します。皮膚に付いた汚れを取り除いて清潔にし、乾かした後に適量を塗り、よくのぼしてください。皮膚のうるおいを保ちます。撥水性の皮膜が、水分の蒸発を防いで皮膚保湿し、乾燥を防ぎます。

メーカー: スミスアンドネヒュー

### ワセリンベトリウムジェル

白色ワセリン。無香料・無着色・防腐剤無添加。入浴後・皮膚に水分が残った状態で塗布すると伸びが良く、塗布直後は水分はないが1~2時間すると無塗布部よりも有意に角質水分量が増えます。

メーカー: エリーバ



### リンゴ酢

最近色々な施設・病院さんで取り入れられているスキンケア商品がこちら、『リンゴ酢』です。リンゴ酢はリンゴ酸を多く含み抗炎症作用や皮膚新陳代謝作用があります。また、

リンゴ酸やいわゆる『フルーツ酸』と言われるものには美白効果・古くなった角質の除去、細胞の再生促進などの効果もあるんです!

アトピー性乾皮症に使用した結果、角質水分量が増加したという報告もあるそうです。

水1:リンゴ酢1で作ったリンゴ酢液を噴霧器にいれ、陰部洗浄後十分に水分をふき取った後臀部などに噴霧するだけ。(陰部などの粘膜には噴霧しないよう注意してください)そして、軽くパティング後皮膚保護クリームを塗布すればより効果がアップします。



### お茶の洗浄液

場所柄なのでしょうか? 静岡県の施設さんにお邪魔するとよく見かけるのがこのお茶洗浄液です。お茶にはカテキン・フラボノイドなどの成分により、抗酸化作用・抗菌・消臭作用などが含まれており、簡単にスキンケアが出来るとてもよいアイテムです。お茶の成分を含ませたガーゼで皮膚を保護している施設さんもありました。お食事で使った後の茶殻を使い、洗浄液を作ればコストもかからず経済的ですよね

田上八郎: 敏感肌のスキンケア・第98回日本皮膚科学会総会ランチョンセミナー資料'99

## 介護用品の最新情報

### さらさらスリムで一工夫

両面吸収タイプの尿取パッド、さらさらスリムは看護・介護では縁の下の力持ち的存在。折ったり丸めたりして隙間の出来やすいところにあてれば横向きになっても伝いもれなどを起こさず速やかにパッドへ尿を移行させてくれます。また、このパッドは名前の通り吸収後もさらさら。高分子ポリマーの働きによって尿の逆流を起こさずいつでもお肌をさらさらの状態に保ってくれます。皮膚の弱い方には必須のアイテムです。

### 3つに切って

切った所をテープで止めて、褥瘡や創傷部に直接ガーゼの代わりに当てれば、滲出物を吸い取ってくれるし通気も十分、治療に一役買って出ます。

### 冷やしてもGOOD

パッド全体を水に浸した後、乾くまで放置したら冷蔵庫に入れて冷やしてみると、アイスノンの代わりとして使えてとても便利。長時間冷たい状態が続くから、発熱した方のおでこや鼠けい部にあててお使いください。柔らかくてとても気持ちがいいです。また、お風呂介助で暑いなあと思ったら、皆さんも冷たいさらさらスリムを首に巻いてみてください。なんともいえない爽快感が味わえるはず!!!



# 『アニマルセラピー』 横浜 さくら苑様



## アニマルケーション

最近施設内で犬や猫を飼っているところが増えつつあります。施設によっては月や週に一度アニマルセラピーと言う日を作り、ご利用者さんと動物たちとのコミュニケーションの場を設けている所もあります。

アニマルセラピーとは、動物とのふれあい、交流によって精神と肉体機能を向上させる“セラピー（療法）”の一種です。基本的にアニマルセラピーとは動物介在療法の事ですが、日本ではもう少し範囲を広げて、アニマルヒーリングである動物介在活動や、動物と触れ合う事、自宅でペットとともに生きて行く事などもアニマルセラピーといわれています。

## 効果

人が動物に対しての働きかけをしようとする意欲から、日常の運動や動作が多くなり、動物に対する話しかけにより発語が増える。ペットを飼っている人の方が飼っていない人より収縮期血圧及び血清中性脂肪値が低く、心筋梗塞後の1年生存率も高いと言われています。また、『動物は人々に対して自尊心、責任感、必要とされている気持ち、自立心や安堵感、笑いや楽しみをもたらし、ストレスや孤独感を癒すというストレスの緩衝作用がある』とも言われているんです。



## 老人と犬

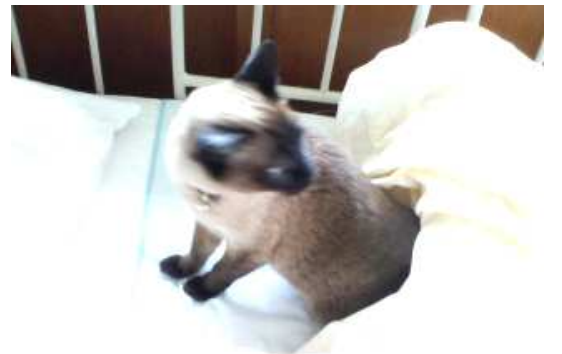
『老人と犬』というタイトルの本をご存知ですか？  
お年寄りの方々と、動物たちの共同生活を描いたドキュメンタリー小説で、舞台は特別養護老人ホームです。  
実はこの老人ホーム、横浜にある特別養護老人ホーム『さくら苑』さんがモデルになっているんです。

## 共同生活

私も何度かお邪魔させていただいたことがあるのですが、取材に訪れたこの日もまず玄関に入ると大きなラブラドルレトリバーの『アリス』が出迎えてくれました。足元まで寄って来てくれて歓迎してくれるんです。そして居室では猫のルイちゃんのご利用者さんのベッドの中で気持ちよさそうに眠っていました。ルイちゃんはあるご利用者さんのベッドが大のお気に入りらしく、いつもここでお昼寝をしているんだとか。  
ご利用者さん方皆さんがとてもかわいがっているため、ワンちゃんも猫ちゃんもとても居心地がよさそうです。



アリスちゃんのお出迎え。  
早く中においでとしきりに誘ってくれます。



ご利用者様のベッドの中でお昼寝中のルイちゃん。  
お布団を少しめくったらびっくりして飛び起きちゃいました。驚かせてごめんなさい



お出迎えちょっと一休み中。  
アリスちゃんは苑で二代目の看板娘です。  
初代看板娘は『老人と犬』の表紙に写っている『ヘレンちゃん』。どちらも人なつこくてとってもかわいらしい、正に『看板娘』です。

## ☆☆老人と犬☆☆

お年寄りの方々と動物たちの心のふれあいを描いた  
心温まるストーリーです！  
秋元良平 著 文春文庫



## ワンちゃん猫ちゃん大好き



朝食後の団樂中にお邪魔しました。  
明るい雰囲気の中、皆さん楽しく会話をしたり本を読んだりしています。お食事が終わってもご自分のお部屋に戻る方は殆どいらっしゃらないそうです。

今回苑内を案内してくれた中曽根主任さんと弊社営業の横浜君。  
二人に囲まれて少し照れ気味のアリスちゃん



## 動物の暮らし

『ホームで動物を飼うことは、しつけの問題や清潔の保持、健康管理の問題など、対処を必要とする課題もありますが、獣医さんなどの専門家の指導を受け、体制を整えれば、いっしょに生活するのは十分に可能です。そして得るものの方がはるかに大きいものです。』

と、さくら苑の桜井苑長さんは著書『特別養護老人ホームの今日と明日』に記しています。  
施設で動物を飼うのは日本動物病院福祉協会が進めているCAPP（コンパニオン・アニマル・パートナーシップ・プログラム）活動と言う、動物とのふれあい活動の一つのかたちです。  
さくら苑さんがこのCAPP活動を始めたのは1986年、日本で初めての施設です。  
動物と暮らすことは、動物の生死にも関わることになりますが、そこには人間も動物も共通した命があり、同じように生きることを、命の尊さや喜びや悲しみを、分かち合い、共有していく素晴らしい関係が生まれるのだと、ここさくら苑さんは教えてくれます。

## さくら苑と言う空間

ドアを開けると、そこには他にないとても優しく、ゆったりとした時間の流れる一つの空間があり、そこにいっただけで不思議と癒されてしまう...  
そんな特別な印象を受ける素敵な特別養護老人ホームさんでした。  
さくら苑さん、取材のご協力本当にありがとうございました。  
介護ハンドブック33『特別養護老人ホームの今日と明日』  
自由に 生き生きと 自分らしく -  
一番ヶ瀬 康子 監修 さくら苑苑長 桜井里二 著 一ツ橋出版  
介護者のためのパイブルとも言えるシリーズです！！

